



短期留学プログラム手引き



Guide Book 2024



*Chuo University Short-Term
Study-Abroad Program*



中央大学『短期留学プログラム』とは

短期留学プログラムは、本学協定校で実施される研修への参加と、その準備過程としての本学における週1回の前期授業(夏季)または事前研修・事後研修(夏季・春季)を履修することで、本学の授業科目としての単位(4単位または2単位)を付与するものです。2023年度では、約280名が参加しました。

参加資格があるのは学部生で、単位が付与される学期に在籍する学生が対象となります。また、夏季のプログラムでは、応募期間が3月下旬頃から4月上旬となるため、新1年生(※)の応募が可能です。

1ヶ月という短期間ですが、短期留学プログラムは異文化体験を通して、自己を発見し、視野を広げることができる絶好の機会です。臨機応変に問題を解決する能力が必要となり、自分を試されることとなります。このような経験を経ることによって、自立性、自信を身につけることは、社会へ出た際の重要な社会人基礎力となることでしょう。本学は、皆さんが短期留学プログラムで最大限の成果を得られるよう支援します。

(※)独語圏プログラム・仏語圏プログラムは既修者が対象となります。



シェフィールド大学
(英国/シェフィールド)



韓国プログラム

①檀国大学(韓国/京畿道) ②慶熙大学(韓国/ソウル)



テュービンゲン大学
(ドイツ/テュービンゲン)



トゥールーズ=ジャンジョレス大学
(フランス/トゥールーズ)



スウィンバーン工科大学
(オーストラリア/メルボルン)



アリカンテ大学
(スペイン/アリカンテ)

春季短期留学プログラム【2月～3月】

- ・短期留学プログラムⅢ・Ⅳ 2単位(事前研修3回・事後研修1回+現地研修+課題)
ハワイ大学マノア校(NICE)、オークランド大学、スウィンバーン工科大学・アリカンテ大学

夏季短期留学プログラム【8月～9月】

- ・短期留学プログラムⅠ・Ⅱ 4単位(前期授業 週1回/全14回+現地研修)
カリフォルニア大学デイヴィス校 シェフィールド大学、ウィニペグ大学、
チュービンゲン大学、トゥールーズ=ジャンジョレス大学
- ・短期留学プログラムⅢ・Ⅳ 2単位(事前研修3回・事後研修1回+現地研修+課題)
スウィンバーン工科大学、韓国プログラム(①檀国大学・②慶熙大学)

※実施プログラムは、変更になる場合があります。詳細は最新の募集要項を確認して下さい。



ハワイ大学マノア校(NICE)
(米国/ハワイ州マノア)



カリフォルニア大学デイヴィス校
(米国/カリフォルニア州デイヴィス)



ウィニペグ大学
(カナダ/マニトバ州ウィニペグ)



オークランド大学
(ニュージーランド/オークランド)

短期留学プログラムの 授業科目名・成績付与・評価に関して

※実施内容は、変更になる場合があります

春季短期留学プログラム 実施時期／春季休暇期間中【2月～3月】

授業科目名 短期留学プログラム III・IV

事前研修3回、事後研修1回と現地研修の修業状況及び課題取組みと提出状況により、**次年度前期授業分として2単位付与/評価**される科目になります。原則、教員の引率につきません。

▶事前研修(3回)

- ・研修手続きオリエンテーション2回
- ・担当教員による研修1回

プログラム参加者間でのディスカッションや課題取組み、提出などを通して訪問先国の文化・社会や現地研修内容に関する事前知識を身につける。

▶事後研修(1回)

- ・担当教員による研修1回

プログラム参加者間でのディスカッションや課題取組み、提出などを通して、留学経験の振り返りを行います。留学を通して得た事を再確認し、今後の学生生活に生かすことを目的とします。



夏季短期留学プログラム 実施時期／夏季休暇期間中【8月～9月】

授業科目名

短期留学プログラム I・II

週1回 全14回の前期授業の受講と現地研修を受講し当年度前期授業分として4単位付与/評価される科目になります。教員の引率につきません。

▶前期授業(14回)

- 前期授業により基礎語学力を身につける。
- 訪問先国の文化・社会に関する事前知識を身につける。
- 渡航、現地での生活に関する実践的な知識を身につける。
※授業内容詳細は、講義要項で確認してください。
※出発準備に関して、事前オリエンテーション(3回程度)を別途実施します。



授業科目名

短期留学プログラム III・IV

事前研修3回と事後研修1回の受講と現地研修の修業状況及び課題取組みと提出状況により、当年度後期授業分として2単位付与/評価される科目になります。原則、教員の引率につきません。

▶事前研修(3回)

- 研修手続きオリエンテーション2回
- 担当教員による研修1回
プログラム参加者間でのディスカッションや課題取組み、提出などを通して訪問先国の文化・社会や現地研修内容に関する事前知識を身につける。

▶事後研修(1回)

- 担当教員による研修1回
プログラム参加者間でのディスカッションや課題取組み、提出などを通して、留学経験の振り返りを行います。
留学を通して得た事を再確認し、今後の学生生活に生かすことを目的とします。



評価について

短期留学プログラムI・IIに関しては事前授業(14回)、III・IVに関しては事前研修(3回)、事後研修(1回)の修業状況(出席率や課題取組み、課題提出状況等)と現地研修の修業状況を総合的に判断し、担当教員が評価します。

現地語学研修に関して

• 本学協定校および付属の語学学校における定評あるプログラム • 語学研修と現地での様々な体験

プログラムにより異なりますが、スポーツ、ミュージカル鑑賞、小旅行などアトラクションを盛り込んだプログラム、ボランティア活動を主眼として組み込んだプログラムなど様々です。本学の協定校ならではの良さ、またこれまで本学学生を受け入れてきた実績・評価に基づく受入れ体制が取られています。

春季短期留学プログラム「短期留学プログラムIII・IV」(2単位)

研修先	ハワイ大学マノア校(NICE) 米国 ハワイ州 The University of Hawaii, Manoa New Intensive Course in English(NICE)	オークランド大学 ニュージーランド オークランド The University of Auckland, the English Language Academy
実施期間	2月上旬～2月下旬 (3週間)	2月中旬～3月中旬 (4週間)
募集人員	30名	30名
実施形態	往復団体行動	往復団体行動
滞在形態	ホームステイ	ホームステイ
授業	ハワイ大学マノア校で英語教育機関の語学研修3週間とハワイ文化などを学ぶ研修	ニュージーランド最高学府として有名なオークランド大学英語教育機関での4週間語学研修
課外活動	スポーツイベントやホエールウォッチング、フラダンスなどの体験	Auckland Museumやマオリ族の文化体験、Waiheke Islandでのカヤックツアー、ホビット村ロケ地ツアーなどの体験
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・レベル別の授業。 ・ハワイ大学学生が授業に参加(5回)。 ・フィールドトリップ、アクティビティなど。※別途自己負担(別途費用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Listening, Speaking, Reading, Writingの授業(他国や日本の他大学生と混合クラス)。 ・レベル別(Elementary, Pre-Intermediate, Intermediate, Upper Intermediate, Advanced)の5レベルの授業。
費用(2020年実績)	約60～70万円(2023年)	約65万円

※2023年春季は、オークランド大学プログラムを実施しませんでした。
 ※費用は換算レートによって大きく変動する場合があります。
 ※滞在形態は変更になる場合があります。

春季短期留学 参加学生からの声



アメリカ ▶ ハワイ大学マノア校(NICE)

- 異なる文化圏での生活においては、積極性やミスを恐れない気持ちが重要であるとよく理解できた。その足りなかった部分を日本で鍛えなおして、また海外に足を運んでみたいと思う。
- はじめは英語に慣れず緊張していたが、少しずつ耳が慣れてくることで楽しくなり、充実した留学生活を送ることができた。英語を学びに行ったことに変わりはないが、それと同時に人間関係において言語の壁が思ったより低かったことにも気づくことができた。
- 初めての海外で行く前は不安しかなかったが、大学での事前研修や危機管理セミナーなどを通して安心して渡航することができた。これから成長していく上でのきっかけを多く与えてくれた。

ニュージーランド ▶ オークランド大学

- 現地生活することで耳が慣れ、英語を使って会話することに抵抗がなくなった。日本とは異なる環境で過ごすという経験は、自分の中で自信にもつながると思った。
- ホストファミリーが相談にのってくれたりアドバイスをくれたりした。現地での生活を経験し、行かなければわからないことがたくさんあり、本当に渡航してよかったと思った。
- よく1か月の留学はあまり意味がないと言う人がいるがそんなことはないと思った。1か月でも十分な経験、能力が身に着くと実感した。



春季短期留学プログラム「短期留学プログラムIII・IV」(2単位)

研修先	スウィンバーン工科大学 オーストラリア メルボルン Swinburne University of Technology, Swinburne College	アリカンテ大学 スペイン アリカンテ The University of Alacant
実施期間	2月中旬～3月中旬 (4週間)	2月上旬～3月上旬 (4週間)
募集人員	30名	15名
実施形態	往復団体行動	往復団体行動
滞在形態	ホームステイ	ホームステイ
授業	スウィンバーン工科大学英語教育機関での4週間語学研修	アリカンテ大学スペイン語教育機関での4週間語学研修
課外活動	Melbourne CBD Sightseeing, Farewell Lunch Ceremony などの体験	市内観光(バルセロナ)等がオプションとして予定されている。また、日本語を学ぶ現地学生との交流会もあり。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> General English(初中級レベルの学生)またはEnglish for Academic Purpose(中上級レベルの学生)の授業に参加。 オーストラリアの学生と交流が持てるパディプログラムが用意されている(週2時間<2週間のみ>)。 	<ul style="list-style-type: none"> バレンシア州立アリカンテ大学で、レベル別のクラスで外国人学生と一緒にスペイン語コースを受講する。
費用(2020年実績)	約60万円	約50万円(2024年春実績)

※2023年春季は、スウィンバーン工科大学プログラムを実施しませんでした。アリカンテ大学プログラムは、2024年春季から開講されました。

※費用は換算レートによって大きく変動する場合があります。

※滞在形態は変更になる場合があります。

春季短期留学 参加学生からの声



オーストラリア スウィンバーン工科大学

- この語学留学のためにオンライン英会話などで事前にトレーニングをしたが、英語でコミュニケーションをとるためには言語力を上げることも必要だと実感した。これから英語学習をするにあたって、やらなければいけないことが明確になったので行ってよかった。
- 自分から勇気を出して現地の方に話しかけるなど、今までの自分では出来なかったようなことにチャレンジできてよかったと思う。これから色々なことに挑戦するための糧となった。
- 1か月滞在したことで、よりオーストラリアの文化や習慣、そして英語に馴染めたのではないかなと思う。この経験をこれからの英語学習や人生にいかしたい。

夏季短期留学プログラム「短期留学プログラムⅠ・Ⅱ」(4単位)

研修先	カリフォルニア大学デイヴィス校 米国 カリフォルニア州 University of California, Davis Extension's Center for International Education	ウィニペグ大学 カナダ マニトバ州 The University of Winnipeg	シェフィールド大学 英国 シェフィールド University of Sheffield English Language Teaching Center (ELTC)
実施期間	8月上旬～9月上旬 (4週間)	8月上旬～8月下旬 (4週間)	7月末～8月下旬 (4週間)
募集人員	25名	30名	30名
実施形態	往復団体行動	往復団体行動	往復団体行動
滞在形態	寮またはホームステイ	寮またはホームステイ	寮またはホームステイ
授業	English for Science and Technology(EST): 理系分野英語のコースと、Communication and Culture Program(CCP):語学・アメ リカ文化学習のコース選択可能	English Language Program(Short Term Intensive English Program)の4 週間 語学コース	午前:General Englishの授業 午後:週2～3回のテーマ別の授業 (Social English, Speakingなどいくつか のクラスに分かれて受講)
課外活動	EST: 現地企業等の見学など CCP: ナパバレーや国立公園ツアーなど	Socio-Activitiesの中で、博物館、美術館 訪問やスポーツ観戦など	ロンドン旅行あり
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 滞在方法を、寮とホームステイから選択することができる。 ESTコースでは、アメリカ最先端の科学技術分野の現状を学ぶため、研究所や会社訪問も予定。 CCPコースでは、プレイスメントテストに応じて、能力にあったクラスに参加ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> リスニングやスピーキングなどのコミュニケーションスキルに重点を置いた会話重視のプログラムが中心となっている。 Socio-Cultural Activitiesのクラスでは、実践的に語学スキルを使用する機会が得られる。 ホームステイのため、カナダの家庭生活経験により、カナダの文化、習慣を学ぶ機会が得られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 約30カ国から来る参加者とともに語学研修を受講。 午前中はGeneral English、午後はBusiness English, Social English, Pronunciation等の中から、いずれか一つのクラスに入り学習する。
費用(2023年度実績)	約73万円～約75万円	約65万円	約72万円

※費用は換算レートによって大きく変動する場合があります。

※滞在形態は変更になる場合があります。

夏季短期留学 参加学生からの声

アメリカ カリフォルニア大学デイヴィス校

- 出会った全ての人々が何かしら意欲を持っており、自分も進路や時間の使い方などを見直すきっかけになった。留学したことで、これからの大学生活を有意義に過ごすことができると思う。
- 授業等含め自分から積極的に参加しなくてはならないことが多々あったため、日本と異なり発言する機会が多かった。またインタビューを行う授業もあり、日本では体験する機会がないようなことが体験でき楽しかった。
- アメリカでたくさんの優秀な人に出会い仲良くなれ、本当によかった。この一か月間、たくさんの知識を学んで英語力も向上され、視野を広げることもできた。



イギリス シェフィールド大学

- 日本では英語を話すことに億劫になっていたが、現地校で文法を間違えてもたくさん発言することが大切だと感じ、授業中やホストファミリーという時に英語で話すことを心がけた。そのおかげで、英語で話すことに自信がついた。
- 毎日とても濃い時間が過ごせて充実した短期留学だった。外国人と友達になったり、午後のアクティビティに参加したりと自分から機会をつくるのが大切だと感じた。1ヶ月の留学は長いと思っていたが、参加してみるとあっという間に終わってしまい、語学力の向上のためにもさらに長い期間で留学してみたいと思うようになった。
- 現地での授業だけでなく、買い物をする際に使う実践的な英語を学べた。生活に慣れるまで精神的に疲れることはあったが、留学が終わった今振り返ってみると全てが良い経験だった。

夏季短期留学プログラム「短期留学プログラムⅠ・Ⅱ」(4単位)

研修先	チュービンゲン大学 ドイツチュービンゲン The University of Tübingen	トゥールーズ=ジャンジョレス大学 フランストゥールーズ Université de Toulouse
実施期間	8月上旬～8月下旬 (4週間)	8月上旬～8月下旬 (4週間)
募集人員	17名	20名
実施形態	現地集合・現地解散	現地集合・現地解散
滞在形態	チュービンゲン大学寮	ホームステイ
授業	午前：ドイツ語の授業(ディスカッション、文法練習) 午後：チューターによる補修(約2時間)	午前：フランス語の授業 午後：アトリエと呼ばれる表現や発音の強化クラス
課外活動	小旅行など	トゥールーズ町散策、チーズテイasting、ディナー1回など
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 世界30数カ国から学生が参加するドイツ語研修プログラム。 夕刻には、ドイツ語発音指導、日本語との比較から見たドイツ語、ドイツ語方言講座、音楽の夕べ、映画の夕べなど様々なプログラムあり、各自の興味・関心に応じて参加可能。 現地集合現地解散であり、各自で旅行等を計画できる(研修終了後1週間程度で欧州各地を旅行するなど)。 	<ul style="list-style-type: none"> 現地集合現地解散のため、研修前は各自観光など、旅行を企画出来るプログラム。 4週間のホームステイを通して、実践的なフランス語を使う期間を得ることが出来、フランス文化に触れることが出来る。
費用(2023年実績)	授業料：660ユーロ 寮費：約450ユーロ 食費・交通費等：400ユーロ程度 渡航費：自己手配	授業料：960ユーロ ホームステイ：1,098ユーロ 渡航費：自己手配

※費用は換算レートによって大きく変動する場合があります。トゥールーズ=ジャンジョレス大学プログラムは、2024年夏季からのプログラムです。

※滞在形態は変更になる場合があります。

夏季短期留学 参加学生からの声

カナダ ウィニペグ大学

- 他国の文化に触れることができたという面で、とても学びが多かった。語学をしっかり学ぶためには、自ら進んで行動することが大切だと感じた。
- 時間が過ぎるのがあっという間だったが、とても充実した日々を送ることができた。直接海外に行きその土地で暮らしてみる事で、大学の授業だけでは得られないような知識やスキルが身についたと思う。この1ヶ月で想像していた以上のものが得られ、とても貴重な経験になった。
- 最高に楽しい1ヶ月間を過ごすことができ、それだけでなく自分がどのような環境でうまく対応できて、どのような時にうまくいかないのかがよく分かった。これからの成長につながるいい機会になって本当に良かった。



ドイツ テュービンゲン大学

- 毎日がとても充実していた。ドイツ語で話すことばかりを想定していたが、英語で話す場面も沢山あり、もっと英語の勉強もしていけばよかったと思う。少しでもドイツ語圏に留学してみたいと思ったら参加してみるべきだと思う。
- 行く前は授業内で習った単語や文法しかなかったが、現地でドイツ語でのコミュニケーションを取っていくうちに単語の幅が広がり、文法の型もしっかり身についた。1ヶ月でも充分語学力は向上したが少し物足りない部分があるので、短期または長期でもう一度留学に臨もうと思う。
- 毎日笑顔で挨拶し積極的にコミュニケーションを取り、何事も楽しもう!という気持ちでいると案外事が上手く進むことが分かった。同じクラスになった人たちと現地を離れても連絡する関係になれたことが今はとても嬉しい。



夏季短期留学プログラム「短期留学プログラムIII・IV」(2単位)

研修先	韓国プログラム 2コース		スウィンバーン工科大学 オーストラリア メルボルン Swinburne University of Technology, Swinburne College
	1. 檀国大学 Dankook University 京畿道 龍仁市	2. 慶熙大学 Kyung Hee University ソウル市	
実施期間	8月上旬～8月下旬 (約2週間)	8月上旬～8月下旬 (約3週間)	8月中旬～9月中旬 (4週間)
募集人員	15名程度	15名程度	30名
実施形態	現地集合・現地解散	現地集合・現地解散	往復団体行動
滞在形態	寮	寮	ホームステイ
授業	Korea Immersion Program (KIP) コースの Korean Language Classでレベルに応じた韓国語を学ぶ。	短期課程 夏短期2次プログラムに参加し、韓国語の4つの機能(話す・聞く・書く・読む)を総合的に学ぶ。	スウィンバーン工科大学英語教育機関での4週間語学研修 (授業開始前3日程度は中大生のための授業)
課外活動	Korean Culture Classでは、主に韓国文化の体験をする。(K-popダンス、韓国の伝統文舞踊、スポーツなど)	韓国の礼法やダンス体験等の文化体験プログラムが用意されている。	Great Ocean Road tourやYarra valley tripなどの体験。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 自然が多く落ち着いたキャンパス。 韓国語を3段階のレベルに分かれ受講。 文化体験(K-popや伝統舞踊など)を通して韓国について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ソウルキャンパスで30カ国以上から300人以上の学生が参加する大きなサマーコース。 トウミ制度と呼ばれる現地学生によるサポート体制。 	<ul style="list-style-type: none"> General English(初中級レベルの学生)またはEnglish or Academic Purpose(中上級レベルの学生)の授業に参加。 オーストラリアの学生と交流が持てるパディプログラムが用意されている。(週2時間(2週間のみ))
費用 (2023年度実績)	授業料(寮費含む): 約10万円 渡航費: 自己手配	授業料(寮費含む): 約18万円 渡航費: 自己手配	約55万円 (2024年度予定)

※2024年夏季は、淑明女子大学プログラムを実施しません。
 ※費用は換算レートによって大きく変動する場合があります。
 ※滞在形態は変更になる場合があります。

夏季短期留学 参加学生からの声

韓国プログラム(檀国大学・淑明女子大学・慶熙大学)

1. 檀国大学 2. 慶熙大学

1. 檀国大学

- 現地で実際に授業を受けてみて、自分の現在の語学力を知ることができた。何を重点的に勉強するべきかなど、これからの勉強に繋がられる課題を見つけることができた。
- レベルにあった授業を受けられ、現地の友達もでき、その友達や先生と一緒に授業外でも多くの時間交流することができたので、とても充実した3週間だった。
- 韓国語を身につけられただけでなく、新しい出会いがたくさんあった。檀国大学には様々な国の人たちが留学に来ていて、違う言語を母国語とする人々とお互い母国語ではない言語を勉強することの楽しさを体感することができた。

3. 慶熙大学

- 語学を勉強できるとともに、文化に触れ合うことができた。また日本の地方から来ている方や外国の方と友達になれ、貴重な体験ができた。
- 短期間でも積極的にその言語に関わっていると、言っている意味が完全に理解できなくても徐々に耳が慣れてくるように感じた。そこから理解できるようになるには、今後の単語学習等が重要だと思った。
- 大学での授業は少し難しく付いていくのが大変だったが、先生方も親切で良かった。また中央大学の友達や現地の友達と色々なところに出かけてたくさん経験ができた。



※スウィンバーン工科大学の参加学生の声は春季のページをご覧ください。

短期留学プログラムの参加要件および応募から事前研修／事前授業までの流れ

	春季プログラム	夏季プログラム
参加要件	申込時に1～3年次の学部生 ※次年度前期に在籍する事が確実な4年次以上の学部生も申込み可能。	全学部生 ※新1年生も申込可能。 (独語、仏語プログラムは既修者が対象)
募集要項配布時期	9月下旬～10月中旬	3月下旬～4月上旬
配布場所	国際センターHPまたはCplusからダウンロード	
申込時期	9月下旬～10月中旬	3月下旬～4月上旬
	説明会開催(プログラム概要を紹介します。)	
申込方法 (夏季・春季共通)	短期留学プログラムⅠ・Ⅱ／Ⅲ・Ⅳ Cplusのアンケート機能で申込み ※提出されたデータから成績照会し、書類選考の対象とします。	
選考方法	短期留学プログラムⅢ・Ⅳ 書類選考 ※面接実施の場合あり	短期留学プログラムⅠ・Ⅱ／Ⅲ・Ⅳ 英語圏：書類選考 ※面接実施の場合あり ドイツ語圏：書類選考 フランス語圏：書類選考 ※面接実施の場合あり その他言語圏：書類選考 ※面接実施の場合あり
	書類選考：参加申込票記載内容および成績などをもとに選考	
結果発表	10月中旬～下旬	4月中旬～4月下旬
結果通知方法	全学メール等	全学メール等
事前研修/事前授業と 出発準備 オリエンテーション	11月中旬頃 第1回 事前研修 12月中旬頃 第2回 事前研修 1月中旬頃 第3回 事前研修	短期留学プログラムⅠ・Ⅱの場合 4月から14回の授業の受講 3回程度の出発準備オリエンテーションに出席
	短期留学プログラムⅢ・Ⅳの場合 4月下旬～5月上旬 第1回 事前研修 6月中旬頃 第2回 事前研修 7月中旬頃 第3回 事前研修	
	第1回目の事前研修または出発準備オリエンテーションで必要書類を提出する	
事後研修/帰国後 オリエンテーション	3月下旬～4月上旬 事後研修(1回)	短期留学プログラムⅠ・Ⅱの場合 なし 短期留学プログラムⅢ・Ⅳの場合 事後研修1回(9月下旬～10月上旬)
パスポート 「居所申請」に関して	短期留学参加にあたり、パスポートの取得は必須となる。大学所在地でパスポート申請をする 「居所申請」 が可能ですので、実家が離れている学生でも東京での申請が可能となる。	

国籍に関する注意

日本国籍以外の学生が応募する際には、応募前に早めに国際センターにご相談ください。
(日本国籍保有者でも日本国外で出生の場合、その国の国籍を有している可能性もあり、確認が必要です。)
ビザ取得に時間を要することから、応募できるプログラムが限られる場合があります。
または、他参加学生とは別の手続きや実費が必要な場合もあります。

履修上の注意事項

(1) 履修登録

短期留学プログラムの履修登録は、各プログラム参加決定時に自動的に登録されるため、履修者自身が当該科目の履修登録を行う必要はありません。ただし、後日チェックリスト等により、当該科目が登録されているかどうか、必ず確認してください。

(2) 授業科目

授業科目名	学部間共通科目「短期留学プログラムⅠ・Ⅱ」
授業(研修)形態	前期授業14回(週1回)+現地研修
単位数	4単位(派遣年度前期分として付与)
授業科目名	学部間共通科目「短期留学プログラムⅢ・Ⅳ」
授業(研修)形態	事前研修全3回+現地研修+事後研修1回
単位数	【春季】2単位(派遣次年度前期分として付与) 【夏季】2単位(派遣年度後期分として付与)

(3) 修得単位

短期留学プログラムは所属学部の単位となりますが、所属学部の授業科目として算入される科目区分は、学部により異なります。また、一年間の履修上限制限等も学部により異なりますので、各学部履修要項記載のカリキュラム(授業科目一覧)表および所属学部事務室で確認してください。

(4) 授業・試験と重複する場合について

プログラム期間が前期・春学期試験と重複する場合があります。その場合でも、試験の受験に関する代替措置の依頼等、成績評価に際して不利にならないようにする措置を取る場合があります。詳細は募集要項を確認してください。

参加者の義務・遵守事項および注意事項

このプログラムに参加が確定した人は、以下のことを守っていただきます。

1 参加者の義務・遵守事項

1. 海外旅行傷害保険について

(1) 参加者は、中央大学の指定する海外旅行傷害保険に加入していただきます。これは以下の理由に基づくものです。

- ①複数名に治療・救護が必要となった場合に、学生間で待遇に差が生じないようにするため。
- ②事故等の場合に、大学にも直接連絡が入る体制にするため。

(2) クレジットカードによる付保は認めません。

2. 「誓約書」および「健康状態報告書」の提出について

(1) 選考後、短期留学プログラムの参加が確定した際に、「誓約書」および「健康状態報告書」(持病、既往歴、アレルギーの有無、常用薬等を記入)を配布します。両書類には、保護者の署名も記載して提出していただきます。現地で心身のトラブル等があった場合に、現地での医療機関受診等の可能性がありますので、必ず提出してください。なお、個人情報となりますので、厳重に取り扱います。

(2) 持病のある学生・通院中の学生には、プログラム参加決定後、誓約書および英文の診断書と処方箋の控えを提出していただく可能性があります。それ以外でも健康上の理由で心配な点や相談したい点がある場合は、国際センターに申し出てください。

2 ビザについて

1. 留学先国によっては、日本国籍の学生にはビザが免除される国でも、日本国籍を持たない学生にはビザ取得が要求される場合があります。その際、ビザ取得にかかる手続や費用は個人負担となります。

2. 派遣校で受け入れが確定していても、ビザが取得できないために渡航できない場合があります。その際のキャンセル料等は個人負担となりますので注意してください。

3 注意事項

- プログラムに申込み、合格した場合、原則として辞退することは認められていません。体調の問題などやむを得ない事情があって辞退する場合は早めに申し出てください。
- 申込み際に、資金計画については保護者の方ともよく話し合ってください。プログラムによって高額な参加費用がかかるものもあります。
- いずれのプログラムも、事前授業/事前・事後研修のみの受講や現地プログラムのみでの参加はできません。
- 短期留学プログラムを初めて履修する場合、「短期留学プログラムⅠまたはⅢ」、2回目に別のプログラムを履修する場合「短期留学プログラムⅡまたはⅣ」となります。
- 本人の体調・ご家庭の事情等やむを得ない事情がある場合を除いて、個人の意思により履修中止・現地プログラム中の途中帰国、滞在の延長はできません。
- 不慮の事態により履修を辞退する場合でも、履修削除ではなく「評価不能[F]」となる場合があります。
- 不慮の事態により渡航を辞退する場合でも、プログラム参加費用(渡航費用・現地滞在費用・語学研修費用およびビザ取得費用等)に関しては、それぞれに設定された取消料金規定に応じた金額を支払う事になります。

一般的留意事項(全プログラム共通)

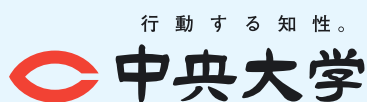
1	この短期留学プログラム手引きは、最新情報に基づいて作成していますが、プログラムの個別内容(スケジュール、費用、引率有無など)は <u>夏季・春季それぞれの募集要項発行時点で変更される可能性もあります</u> ので、ご了承ください。
2	プログラムは授業科目として運営されており、前期授業/事前・事後研修の出席状況と授業態度、現地プログラムでの出席状況と授業態度、試験に基づく成績を全て総合して、参加学生の最終的な成績評価を行い、単位を付与します。したがって、国内外での授業態度に問題が見られる場合、単位を付与されない可能性もあります。また、現地での授業や生活態度に問題がある場合、途中で帰国を促すこともあります。
3	短期留学プログラムの参加については、あくまで <u>参加者個人の責任によってなされるものです</u> 。中央大学は皆さんの安全と健康について十分に配慮するとともに、当プログラムが支障なく実施されるよう可能な限り最善の方策を講じます。 参加者の自己都合によるプログラム参加辞退に関しては、研修校・航空券手配会社等のキャンセル規定に沿って参加者の負担となります。天災、火災、戦争、テロ、ストライキ、疫病などの不慮の災難による日程変更/プログラムの中止(現地プログラム開始前後ないし研修最中を問わず)などの場合、参加者が被った損害については、原則自己責任となり、参加者に負担して頂く可能性があります。
4	現地研修期間中の第3国への渡航に関しては、英語圏、仏語圏は原則禁止とします。独語圏、韓国語圏については、国際センターの設定する期日までにその旅程、宿泊先および連絡先等を国際センターへ提出し、かつ授業担当教員がこれを短期留学プログラムの趣旨に反しないと判断し許可した場合に限り、第3国への渡航を許可することとし、それ以外は原則禁止とします。
5	プログラムの実施形態が現地集合・現地解散の場合、集合までの行動および解散後の行動については個人の責任となる点を留意して参加し、行動してください(現地集合・現地解散プログラム:テュービンゲン大学および韓国プログラム)。
6	国際情勢の急激な変化によっては、現地プログラムの中止または内容が一部変更となる可能性もあります(例:2005年度及び2017年度シェフィールド大学短期留学は、現地プログラム開始直前にロンドン市内のテロ攻撃があったためロンドン滞在中を中止し、代わりにシェフィールド滞在中を延長しました。また、2020・2021・2022年度は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大により全プログラムが中止となりました)。
7	参加費用については過年度の費用を参考にしてください。参加費用振込後、やむを得ず参加を取止める場合でも、参加取止め時期によっては参加費用全額を返還できないことがあります。円安で予定より値上がる可能性があります。
8	参加学生は、現地プログラム運営者、滞在先関係者の指示に従い、他の参加学生と積極的に協力して、事故防止に努めて下さい。万一盗難、紛失、詐欺にあった場合は、参加者の自己責任となります。交通事故、暴行、傷害その他の犯罪、本人の規律違反や過失、自己の故意や過失によって他人に被害を及ぼした場合、当人は保証人と共に賠償の責任を負います。
9	現地滞在中に規律に違反したり他人に甚だしい迷惑をかけた学生に対する処分は、プログラム関係機関の担当者や引率教員に一任されます。その処分に伴う費用の一切は本人および保証人に負担していただきます。
10	留学中は留学先国・地域の法律・条令等や留学先大学・滞在先の規則を遵守してください。本プログラムは本学が1グループとして参加する団体生活であり、したがって、定められた時間の厳守、規律の遵守が義務付けられると同時に、「自分のことは自分でやる」という心構えを持ち、引率教員や他の参加者に迷惑を及ぼすことのないように注意してください。現地滞在中は特に、プライバシーの侵害、深夜の飲酒、自動車(自動二輪車を含む)の運転を禁止します。

CHUO UNIVERSITY
SHORT-TERM
STUDY-ABROAD
PROGRAM

PHOTO GALLERY







行動する知性。

中央大学国際センター

場 所：多摩キャンパス 11号館2階

窓口受付時間：【月～金】9:30～11:30、12:30～17:00

問い合わせ先：〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

TEL 042-674-2219 Email tanki-grp@g.chuo-u.ac.jp

ホームページ：https://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/internationalcenter/index_j.html